

## 予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：防災費 目：防災総務費

## 事業名 防災啓発推進費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 防災課 防災企画係 電話番号：058-272-1111(内2839)

E-mail：c11115@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 19,535 千円 (前年度予算額： 22,097 千円)

## &lt;財源内訳&gt;

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	22,097	0	0	0	0	0	0	0	22,097
要求額	19,535	0	0	0	0	0	0	0	19,535
決定額	19,535	0	0	0	0	0	0	0	19,535

## 2 要 求 内 容

## (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

令和7年度から5年間を計画期間とする第3期県強靱化計画では、昨今の災害の頻発化、激甚化を踏まえ、「自らの命は自らが守る」意識を醸成し、県民総ぐるみで自助・共助の底上げを図ることとした。

被災経験のない県民にとって、災害リスクを我が事として認識することは難しいため、各種媒体を効果的に組み合わせ、県民の防災意識の向上を図る必要がある。

## (2) 事業内容

## ○災害・避難カード啓発事業【継続】

デジタル版「災害・避難カード」ウェブサイト運営に必要なサーバの借上げに加え、普及・促進のため学校へ有識者を派遣

## ○防災啓発番組制作【継続】

小学生等の若年層でも理解でき、家庭で取り組んでみようとさせるテーマで、防災啓発テレビ番組を制作

## ○県民会議運営、推進【継続】

県民総ぐるみで自助、共助の底上げを図るために必要な会議を実施する。また、県民への啓発、活動促進のため、新聞広告を掲載する。

## ○ぼうさいキャラバン【継続】

デジタル環境のない県民や無関心層防災意識を持っていただく機会として、民間事業者等との連携で防災啓発のイベントを実施

## ○地震防災啓発 (シェイクアウト訓練) 【継続】

9月1日を基準日にシェイクアウト訓練を実施することを通して県民の防災意識の啓発を実施する。

○ラジオ等広報【継続】

「ぎふ防災ハンドブック」に広告を掲出し、それと連動して同局においてラジオCMを放送する。

○南海トラフ地震対策啓発【新規】

国の南海トラフ防災対応検討ガイドラインの改訂（R7.8）に伴い「岐阜県南海トラフ地震臨時情報発表時の防災対応指針」を改訂。外部有識者を交えた会議を開催予定

「迫る地震に備えましょう」パンフレットの改訂作業

○教員向け教材（動画）制作【継続】

教員が防災への理解を深め、学校現場で授業に活かしてもらうことを目的に教材となる動画を作成する。

（3）県負担・補助率の考え方

県民の防災意識向上のため県負担が妥当

（4）類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	620	講師謝金
旅費	233	講師費用弁償、県事務所における出張旅費等
需用費	1,306	消耗品費、公用車出張燃料費、地震体験車の運用、印刷費等
役務費	296	郵便代等
委託料	15,964	イベント等の業務委託料
使用料及び賃借料	1,116	高速道路利用料等
合計	19,535	

決定額の考え方

--

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 県民の「自らの命は自らが守る」意識を高め、県民総ぐるみで自助・共助の底上げを図る。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R5)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
災害や緊急時の備えが出来ている人の割合	91.50%	90.00%	93.00%	94.00%	94%	98%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<p>県内各地で防災啓発イベントを複数回実施し、地震体験車の運行やチラシ配布、防災啓発動画の再生などを行うことで、多くの県民へ防災啓発を行った。また、新聞や雑誌・テレビ番組等の媒体を活用し幅広い世代への防災啓発活動を行った。</p> <p>指標① 目標：90% 実績：91.3% 達成率：101.4%</p>
令和5年度	<p>県内各地で防災啓発イベントを複数回実施し、地震体験車の運行やチラシ配布、防災啓発動画の再生などを行うことで、多くの県民へ防災啓発を行った。また、初めてゆいの森で防災教育フェアを開催し、幅広い世代への防災啓発活動を行った。</p> <p>指標① 目標：91% 実績：91.5% 達成率：100.1%</p>
令和6年度	<p>県内各地で防災啓発イベントを複数回実施し、地震体験車の運行やチラシ配布、防災啓発動画の再生などを行うことで、多くの県民へ防災啓発を行った。また、新聞や雑誌・テレビ番組等の媒体を活用し幅広い世代への防災啓発活動を行った。</p> <p>指標① 目標：92% 実績：90% 達成率：97.9%</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3:増加している 2:横ばい 1:減少している 0:ほとんどない</p>	
(評価) 2	風水害の頻発化や激甚化、近い将来に大規模地震の発生が危惧されていることを踏まえ、喫緊の必要がある。
<p>・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3:期待以上の成果あり 2:期待どおりの成果あり 1:期待どおりの成果が得られていない 0:ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 3	災害に備える県民の割合を維持できており、防災啓発イベント実施や各種情報媒体での防災啓発活動は効果があると言える。
<p>・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2:上がっている 1:横ばい 0:下がっている</p>	
(評価) 2	防災啓発イベントで地震体験車を運行したり、各種広報物配布やテレビ番組映像を制作しテレビだけでなくインターネット配信するなど、相乗的に活用することで効率化を図っている。

### (今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項 いかに多くの県民に啓発できるかが課題であり、様々な世代に対して有効な媒体の活用と積極的なアプローチが必要である。</p>
---

### (次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 県民の生命を守るための防災啓発に係る事業であることから、継続して実施する必要がある。</p>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課	
組み合わせる理由 や期待する効果 など	【〇〇課】